

学士特定課題研究論文

学位論文の
体裁に関する研究

東工大 太郎

16B00000

東京工業大学
情報理工学院
情報工学系

指導教員 小池 英樹

2020 年 1 月

概要

研究の背景と目的はカクカクシカジカ。研究の背景と目的はカクカクシカジカ。研究の背景と目的はカクカクシカジカ。研究の背景と目的はカクカクシカジカ。

従来の研究成果はカクカクシカジカ。従来の研究成果はカクカクシカジカ。従来の研究成果はカクカクシカジカ。従来の研究成果はカクカクシカジカ。

本研究では新たにカクカクシカジカの検討を行なった。本研究では新たにカクカクシカジカの検討を行なった。本研究では新たにカクカクシカジカの検討を行なった。本研究では新たにカクカクシカジカの検討を行なった。

その結果、カクカクシカジカの成果と得ることができた。その結果、カクカクシカジカの成果と得ることができた。その結果、カクカクシカジカの成果と得ることができた。その結果、カクカクシカジカの成果と得ることができた。

従来の成果に比べて本研究で得られた成果は大変優れている。従来の成果に比べて本研究で得られた成果は大変優れている。従来の成果に比べて本研究で得られた成果は大変優れている。従来の成果に比べて本研究で得られた成果は大変優れている。

残された課題としてはチョメチョメが挙げられる。残された課題としてはチョメチョメが挙げられる。残された課題としてはチョメチョメが挙げられる。残された課題としてはチョメチョメが挙げられる。

目次

| | |
|----------------------|----|
| 概要 | ii |
| 第 1 章 序論 | 1 |
| 1.1 研究背景 | 1 |
| 1.2 研究目的 | 1 |
| 1.3 本論文の構成 | 1 |
| 第 2 章 関連研究 | 2 |
| 第 3 章 準備 | 3 |
| 3.1 準備-1 | 3 |
| 3.2 準備-2 | 3 |
| 第 4 章 主な結果 | 4 |
| 4.1 結果-1 | 4 |
| 4.2 結果-2 | 4 |
| 第 5 章 数値例と考察 | 5 |
| 5.1 数値例 | 5 |
| 5.2 考察 | 5 |
| 第 6 章 結論 | 6 |
| 付録 A 定理 1 の証明 | 7 |
| 付録 B 定理 2 の証明 | 8 |
| 謝辞 | 9 |
| 参考文献 | 10 |

图目录

表目次

第 1 章

序論

1.1 研究背景

近年、3次元ディスプレイの研究開発は盛んに行われている。

眼鏡を装着するもの→ 3D 映画

直接触れられないもの→ vermeer,

これらの問題は小さい物体を空中に浮遊させ、その物体の一つ一つを 1 ピクセルとみなし映像投影を行う 3次元ディスプレイを開発することで解決される。本研究の目的は、この 3次元ディスプレイを実装するため、空中に浮遊する物体を追跡し、そのデータから映像投影時の物体の位置予測を行うことで、複数の物体に対して実時間投影可能とすることである。

従来の研究成果はカクカクシカジカ。従来の研究成果はカクカクシカジカ。

本研究では新たにカクカクシカジカの検討を行なった。本研究では新たにカクカクシカジカの検討を行なった。

その結果、カクカクシカジカの成果と得ることができた。その結果、カクカクシカジカの成果と得ることができた。

従来の成果に比べて本研究で得られた成果は大変優れている。従来の成果に比べて本研究で得られた成果は大変優れている。

本論文の構成は以下の通りである。本論文の構成は以下の通りである。本論文の構成は以下の通りである。本論文の構成は以下の通りである。[1]

1.2 研究目的

1.3 本論文の構成

第 2 章

関連研究

第 3 章

準備

3.1 準備-1

[illegible]

3.2 準備-2

[illegible]

第 4 章

主な結果

4.1 結果-1

結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。
結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。
結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。結果-1。

4.2 結果-2

[illegible]

第 5 章

数値例と考察

5.1 数值例

[illegible]

5.2 考察

[illegible]

第 6 章

結論

結論はかくかくしかじか。結論はかくかくしかじか。結論はかくかくしかじか。結論はかくかくしかじか。結論はかくかくしかじか。結論はかくかくしかじか。

残された課題はかくかくしかじか。残された課題はかくかくしかじか。残された課題はかくかくしかじか。残された課題はかくかくしかじか。

付録 A

定理 1 の証明

付録 B

定理 2 の証明

謝辞

本研究を遂行するにあたり，日頃より熱心な御指導，御鞭撻を頂きました小池英樹先生に深く感謝致します。

実装や様々な面で貴重な御指導や御助言を頂きました佐藤俊樹先生に深く感謝致します。

また，共に研究生活を過ごしてきた小池研究室の皆様にも感謝致します。

最後に学生生活を支援してくださいました両親に心より感謝致します。

参考文献

- [1] 東工大太郎. 良い論文の書き方. *Journal of XYZ*, Vol. 3, No. 4, pp. 15–34, 2015.